

タイトル	著者名	内容紹介
<p>第166回直木賞候補作品</p> <p>同志少女よ、敵を撃て</p>	<p>逢坂 冬馬</p>	<p>1942年、独ソ戦のさなか、モスクワ近郊の村に住む狩りの名手セラフィマの暮らしは、ドイツ軍の襲撃により突如奪われる。母を殺され、復讐を誓った彼女は、女性狙撃小隊の一員となりスターリングラードの前線へ――。</p>
<p>真夜中のマリオネット</p>	<p>知念実希人</p>	<p>婚約者を殺害された秋穂は、「解体魔」涼介に無実に見える証拠を見せられ、ためらいながらも涼介と真犯人を探すことになるが…。涼介は真犯人に操られた哀れな人形(マリオネット)なのか、それとも周囲を操る冷酷な人形遣いなのか。</p>
<p>[このミステリーがすごい!大賞] 大賞受賞作</p>		
<p>特許やぶいの女王 弁護士・大鳳未来</p>	<p>南原 詠</p>	<p>特許法律事務所を立ち上げた大鳳未来。今回のクライアントは、人気VTuber。未来は、さまざまな企業の思惑が絡んでいることに気付き、いちかばちかの秘策に……!</p>
<p>かいけつゾロリ きょうふのダンジョン</p>	<p>原 ゆたか</p>	<p>修行の旅をつづけるゾロリ。とつぜんあらわれたガマガエルのしゅうだんに、ぶきみなダンジョンへとじこめられてしまう。そのさきにまちうけていたものから、ゾロリはたいへんなたのみごとをされてしまう……。</p>